

二九年露支紛争起るに及び辭任す。一九三二年滿洲建國後勸業の後を受けて哈爾濱市長、東省特別區市政管理局長となり、一九三五年民政部大臣に任命さる。一九三七年五月轉任實業部大臣。同年七月行革により任産業部大臣。

呂 宣 文(漢文) Lu Xuanwen (T'wan) 閩東州金州人。一八九七年生。日本明治大學專門部政治經濟科卒業。順報の編輯長たりしことあり。一九三二年滿洲國成立後任外交部事務官、文書科長、同年答禮使謝介石の隨員として渡日す。一九三五年任國務總理秘書官。一九三七年七月任通化省長。

呂 雷 Lu Heng 錦州省台安縣人。一八九九年生。東北講武堂第六期步兵科卒業。一九二六年陸軍第三十軍中校參謀、一九二八年東邊鎮守使署上校副官長、滿洲國成立と共に奉天省警備司令部參謀處長に任じ、一九三四年陸軍少將に進み、一九三五年第一軍管區司令部少將部附となる。

呂 作 新 Lu Zuo Xin 錦州省錦縣人。一八九六年生。一九二六年大阪工業大學造科卒業。奉天全省高等警官學校、奉天兵工學校等の教官を経て、一九三二年奉天自治指導部員となり、一九三二年任國都建設局事務官。一九三七年七月辭任。

盧 景 暉(介壽) Lu Jinghui (Chai Shuan) 奉天省瀋陽縣人。一八九一年生。一九一七年米國イリノイ大學機械科卒業。一九一九年任本溪湖煤鐵公司技師。一九二二年任津浦鐵路技師。一九二三年任四洮鐵路局長、一九二五年兼任洮昂鐵路工程局長。一九二九年任東北交通委員會委員。滿洲事變前に至る。

盧 元 善 Lu Yuanshan 關東州金州人。一八八八年生。一九二二年仙臺省城農學校卒業。南京書院農務科教員、山城鎮裕華電氣公司董事、四洮鐵路局保線科員、一九三三年四月軍政部高級秘書、同年十月龍江省實業廳長、龍江省民政廳長を経て、一九三七年兼任龍江省教育廳長。

盧 靜 遠 Lu Chengyuan 吉林省永吉縣人。一八八四年生。日本士官學校及砲工學校卒業。練兵處軍學司副司令監督、陸軍部參謀司々長、軍諮府第一廳々長、軍諮府軍諮使、吉林省警備司令部上校部附同參謀處長、第二軍管區司令部少將部附等に歴任。次で任第五軍管區司令部參謀長。

盧 伯 江(白野) Lu Bojiang (Peiyang) 山東省莒縣人。一八八四年生。東三省官銀號黑河分號に就任後滿洲中央銀行濟口支店經理となる。

盧 耀 海 Lu Yaohai 吉林省永吉縣人。一八九〇年生。吉林陸軍學校卒業。一九一八年吉林第一師工兵營軍需長、獨立團軍需官、十六師二等軍需正、吉林水街官銀號管理、奉天突泉縣稅捐局長兼菸酒事務分局長を経て、一九三二年任吉林省依蘭縣々長兼三姓商埠局長、商埠警務局長。一九三三年滿洲國成立後六月吉林省黑河縣縣長、一九三四年七月吉林省敦化縣々長等に歴任。

婁 學 謙(靜庵) Lou Huiqian (Chenghe) 濱江省寶清縣人。一八九一年生。北京朝陽大學法律科及北京司法講習所卒業。黑龍江省龍江地方檢察廳檢察長、黑龍江高等法院檢察處主席檢察官等に歴任し、一九三二年滿洲國成立後黑龍江省高等檢察廳長となり、奉天高等法院々長に任命さる。

郎 官 贊(菊振) Lang Kuanpan (Chiehchen) 奉天省新民縣人。一八八六年生。奉天高等警務學堂卒業後各地の警察官に歴任し一九一九年任黑龍江省奇乾縣長。一九三〇年任呼倫縣長。一九三二年滿洲國成立するに及び任黑河市政警備處長。同年馬占山背叛して黑河に黑龍江省政府を樹立するや其財政廳長に任じ爾來馬占山と行

動を共にせり。

ワ之部

和博隆(逸池) Ho-poh-lun (Tan) 吉林省郭爾羅斯前旗人。一八九〇年生。一八九七年郭爾羅斯前旗正私塾卒業。一九〇五年旗公署委員、一九〇六年長春警察廳副局長、同局々長。一九二八年迄同處に勤務。一九三二年滿洲國成立後六月任興安總務廳事務科長、一九三四年任農政部理事官、工商科長。

(附 録)

最近百年間年曆對照表

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	紀元	日
二五〇九年	二五〇八年	二五〇七年	二五〇六年	二五〇五年	二五〇四年	二五〇三年	二五〇二年	二五〇一年	二五〇〇年	二四九九年	二四九八年	天保九	本
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	支
二九年	二八年	二七年	二六年	二五年	二四年	二三年	二二年	二一年	二〇年	一九年	一八年	清道光	那
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
													滿洲
己酉	戊申	丁未	丙午	乙巳	甲辰	癸卯	壬寅	辛丑	庚子	己亥	戊戌	紀元	干支
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	西
一八四九年	一八四八年	一八四七年	一八四六年	一八四五年	一八四四年	一八四三年	一八四二年	一八四一年	一八四〇年	一八三九年	一八三八年	紀元	洋

(附録) 最近百年間年曆對照表